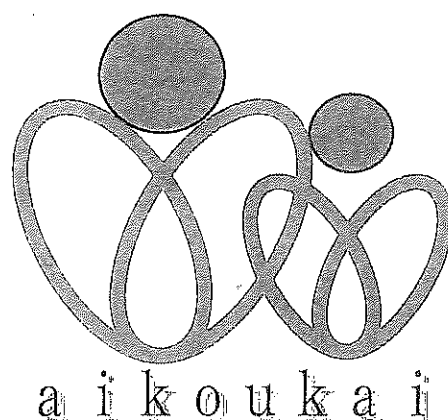


令和6年度 社会福祉法人 愛光会 事業報告

期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日



令和6年度社会福祉法人 愛光会 事業報告

1 総評

社会福祉法人制度改革の通り運営を実施しております。

- (1) 経営組織のガバナンスの強化
- (2) 事業運営の透明性の向上
- (3) 財政規律の強化
- (4) 地域における公益的な取組を実施する責務
- (5) 行政の関与の在り方

以上の5つの点になります。

経営組織ガバナンスにおいては、毎月の理事長と監事による月次推移報告の確認、経営スピードを上げる目的での理事会のこまめな開催、役員会の開催日時を明確に分け、監事の権限強化に成功しました。評議員においては決議事項を絞り込み高い視野からのご意見を伺うことになりました。会計監査人においては、公認会計士及び税理士に計算書類作成の指導的監査と計算書類上の数値の正確性を確認するための税務計算の指導を行って頂きました。

全体の運営状況に関しては、福祉事業では、愛光園拠点区分はプラス、ともだち拠点区分はマイナスとなっております。

昨年度との比較で収益はかなりマイナスです。退職者数増加により収入が下がったことと退職者減を目指し手当を割り増し支給したためです。経費支出に関しましては、例年より全体で人件費が下がっております。これは退職者が多かったためであり、暫時補充していく予定です。水道光熱費も下がっております。あとは人材募集のための減少傾向であった広告宣伝費がまた増加傾向になりました。

在宅サービスの施設数増加による競争の激化は落ち着きました。ともだち建設による競争力の強化は適切なタイミングであったと考えております。デイサービス専任の専門員を作り、ショートステイとの効果的な連携、若年障がい者のリクルート、障がい者スポーツ（ボッチャ）の開催、医療的アプローチであるリハビリテーションの強化で対応しております。対象エリアを広げるあるいは営業日時を増やす等の規模の拡大は職員数を鑑みて、時期尚早と判断し実施しておりません。当年度の結果としては職員不足の為に下記の目的を達成できておりません。【得意分野である医療サービスで差別化を図り、重度者を積極的に取り込み、3か月で1人程度利用者を増やす。数年間で定員が一杯になる予定です。】

採用については、社会状況のためか常勤職員は若干名しか採用できておりません。今年度からは自然減に対する対応する予定でしたが環境が一変しております。1年間で常勤3人程度は採用する方向になります。残りは外国人で対応します。定期的に募集をかけるほうが集まりますので、ある程度は費用がかかるものと考え対応していきます

職員の育成に関しては今年度も介護福祉士の受験資格の養成校に施設から派遣は職員減で出来ておりません。今後どうなるかはわかりませんが、しばらくは様子を見続けたいと考えています。

2 組織・体制等

- 1) 昇進試験での昇進者は1名であった。
- 2) 新卒 介護2名 (うち介護福祉士1名、社会福祉士0名)

中途採用 介護2名 (うち介護福祉士1名、社会福祉士0名)
管理栄養士 1名

- 3) 介護福祉士、社会福祉士等の受験者。介護福祉士2名、社会福祉士0名、精神保健福祉士0名、管理栄養士1名 合格
- 4) 社会福祉士の大学へ0名派遣した。

3 採用及び職員待遇改善

- 1、職員手当を実施した。
- 2、法人に対する意見聴取のため、職員面談及びレポート提出を行った。成果チェックも行い、モチベーションを高めた。部署異動希望の面接も行った。

4 職員研修の実施 (別紙記載)

- 1) 新人研修・・・入職後3ヶ月間、段階を踏んでばらばらに指導するのではなく、1人の担当職員を決め、日誌提出及び先輩職員による3段階の確認を行い、人的資質の底上げを行った。
- 2) 職員研修・・・不定期に社会福祉協議会成人施設部会・身体障害者施設協議会・大阪府等の主宰する外部研修に経験職員を送り出し、一つのテーマではこの職員という形で担当を決め、知識の積み上げがなされるよう配慮した。それに基づく勉強会を開催した。
- 3) 非常勤職員研修・・・3大介護(食事・入浴・排泄)を中心に行うので、業務のマニュアル化及びユニット化を進め、非常勤職員であっても職員との質の差がでないように研修を行った。十分な習熟がなければ、1人の職員としてカウントしない体制にした。

5 日中活動内容

前年度から継続して相談支援の日を月に一度開催した。

行事に関しては別紙記載

6. 災害訓練・健康診断

災害訓練・・・年2回(4月・10月)

健康診断

- 1) 職員 年2回(7月・11月)
- 2) 利用者 年1回(9月)

7. 設備・備品の充実

10万円以上のもの

- 1、車両 なし

2、器具・設備

(1) 愛光園拠点区分

特になし

(2) ともだち拠点区分

特になし

8. 建物等修理、修繕実施内容

10万円以上のもの

(1) 愛光園拠点区分

特になし

(2) ともだち拠点区分

特になし

令和6年度日中行事

	愛光園拠点		ともだち拠点
	行事	食べ物関連	デイサービスあい
4月		苺のクリームチーズ生春巻 きち らし寿司と苺	花見外出
5月		卵サンド たこ焼き ワッフルでこいのぼり	鉄板焼き
6月		カップ焼きそば パスタ チャーハン	おやつ作り（水無月）
7月		クレープ かき氷 フルーツポンチ	七夕祭り
8月	納涼祭（各部署）	スイカゼリー あんみつ すいか割り	夏祭り
9月		蒸し芋にアイス乗せる 芋煮とてまり握り 焼きそばパンorホットドッ	昼食レク（ピザ）
10月	BBQ（各部署） 花火（各部署）	かぼちゃのパンケーキ マクドナルド スイートポテトと選択おや	外出レク（アリオ八尾）
11月	ボッチャ大会	モンブラン カップ麺	おやつ作り（芋餅）
12月	クリスマス会（各部署）	中華デリバリー プリンアラモード ツリーでお菓子選び クリームぜんざい	クリスマス会。
1月	寿司レク（各部署） 正月レク（各部署）	お汁粉とスイートポテト 練り切り	初詣外出（恩智神社・石切神社）
2月	節分レク（各部署）	練り切り アイス チョコプリン	おやつ作り（プチパンケーキ）
3月	愛光祭（各部署）	ジャムどら焼き ピザ 焼きそば	昼食レク（寿司） 花見外出

茶話会・誕生日会・音楽教室・クラブ活動は各部署にて毎月実施

移動支援・個人外出

令和6年度 研修一覧

【社外】

新入社員集合研修	さまざまな人権問題に関する研修会
介護記録の書き方	施設職員の心のケアを考える講座
障がい児者施設課程（OJT）研修会	障がい児者施設課程（主任クラス）
福祉職員研修【初任者】	広報紙研修会
普通救命講習Ⅰ	強度行動障がい支援者養成研修
福祉職員研修【OJTリーダー養成】	栄養士・調理師研修会
高次脳機能障がい基礎研修会	福祉レクリエーション研修会
スーパーバイザー養成基礎研修	新入社員フォロー研修
送迎（福祉）車両安全運転講習会	相談支援従事者初任者研修
福祉職員研修【中堅職員】	リスクマネジメントに関する研修会
ファシリテーション研修	近畿地区身体障害者施設協議会研修大会
ボランティアコーディネーター研修会	感染症予防対策講習会
サービスマナー・セミナー	社会福祉主事資格認定通信課程
人権リーダー養成講座	八尾市企業人権協議会研修会
福祉職員研修【チームリーダー】	人権リーダー認定者スキルアップ研修
個別相談援助技術研修	

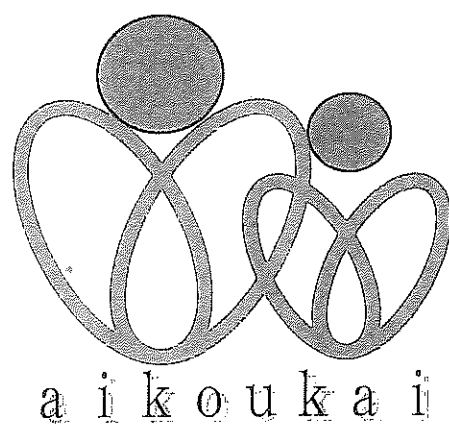
【社内】

愛光園について～沿革、法制度～	福祉機器の使い方
感染症予防対策、緊急時の対応、応急処置	人権研修、苦情対応
スタッフの役割、情報交換	利用者対応、介護者の心構え
リスクマネジメント OJT	中堅スタッフの役割
委員会報告	給食 日中 安全 虐待防止
利用者対応、コミュニケーション	各部署年間の取り組み

コロナ禍の為に社外は予定を熟せず。

黒太字は実行されたもの。

愛光園拠点区分 事業報告



I 令和6年度障がい者支援施設 愛光園 事業報告(愛光園拠点区分)

順調に運営されております。

1、経理・会計等

別紙記載

2、職員等

別紙記載

3、報告等

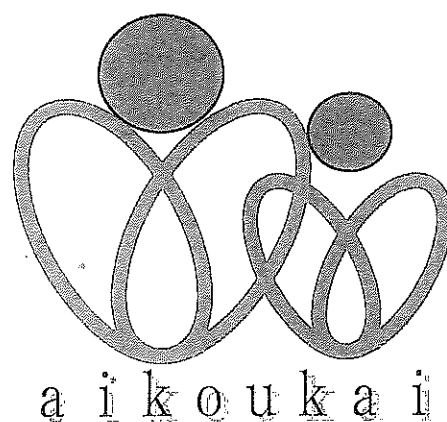
委員会活動や行事に力をいれて運営しております。

Ⅱ 令和6年度 ショートステイひかり 事業報告(愛光園拠点区分)

<総括>

昨年度に比べ、利用者数、給付費ともに減少しています。要因としては、職員数が減ったためと思われます。近年、日中活動系サービスの事業所からの問い合わせが増加しているのですが、きちんと対応出来ていない現状です。

ともだち拠点区分 事業報告



3、総括

稼働日数については感染症による休業はなかったが、また、新規利用者がいなかったり、週3日以上利用者されていた方の退所者も相次ぎ、昨年度と比べて利用人数を大きく下げる形となってしまった。

退所理由については、介護保険への切り替えによる退所、施設入居による退所、死去等があるが、他事業所への移行が一番多かった。新規獲得については、今年度も感染症による影響を懸念して体験実習は実施せず、見学と電話相談のみで対応だったが、担当者会議には出来るだけ参加し、相談支援事業所と直接関わる機会を増やすようにした影響もあり、去年より見学者や相談者の人数が増えていた。

4月からの新規利用者も予定しており、利用人数の増加を期待している。

Ⅱ 相談支援センターとも 事業報告(ともだち拠点区分)

総括

前年度に引き続き、地域によっては委託している事業所のみや指定短期入所事業者の指定が受けていないとの理由から事業登録が出来ない地域、支給決定日数が短期入所や生活介護の日数との併用となっている地域が多く、利用希望者の契約が出来なかったり、宣伝活動の場を広げることが難しく、新規利用者の契約に至らなかった。

利用された際には来園時に検温の実施、利用後に使用した道具の消毒や体育館の換気を行い、感染予防に努めた。

引き続き、契約されている方への利用の促し・可能な範囲で要望に応える、新規利用者獲得に向けての宣伝を行っていきたいと思います。

Ⅲ 地域支援センターともだち事業報告(ともだち拠点区分)

総括

前年度に引き続き、地域によっては委託している事業所のみや指定短期入所事業者の指定が受けていないとの理由から事業登録が出来ない地域、支給決定日数が短期入所や生活介護の日数との併用となっている地域が多く、利用希望者の契約が出来なかったり、宣伝活動の場を広げることが難し

利用された際には来園時に検温の実施、利用後に使用した道具の消毒や体育館の換気を行い、感染予防に努めた。

引き続き、契約されている方への利用の促し・可能な範囲で要望に応える、新規利用者獲得に向けての宣伝を行っていきたいと思います。

Ⅳ 居宅介護センターはるか事業報告(ともだち拠点区分)

総括

業績は例年通りです。他は特に問題はありません。

実績は別表にしております。